

1U ラックマウント対応 8x8 3G-SDI マトリックススイッチャー
MSS0811
取扱説明書



安全にお使いいただく為に

この度は、MSS0811 をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品の使い方と使用上の注意事項について記載しています。

安全上のご注意 必ずお守りください

■ご使用になる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。



注意

誤った取扱いをしたときに軽傷または建物・財産などの損害に結びつくもの。

また、本取扱説明書内に使われている記号の意味は下記のとおりです。



操作の注意とヒント



電源プラグを抜く

本製品をご利用になる前に必ず本書をお読みになり、内容をご確認のうえでご利用ください。

 警告

- 本取扱説明書で記載されている以外の使い方をしないでください。本取扱説明書の指示に従わずに起きた、いかなる事故・損害に対して、弊社は一切責任を負いません。
- 機器内部に燃えやすいものや、金属などを入れないでください。また、水などをかけないでください。
感電や火災の恐れがあります。上記の状態になった場合はすぐにご使用を中止し、販売店または弊社カスタマーサービスにご連絡ください。
- 本製品および、使用するケーブル類を他の高温部（暖房機器など）に近づけないでください。
変形したり、保護部が溶けたりし、感電や火災の恐れがあります。
- 本製品の分解、改造は絶対に行わないでください。機器の故障や感電、火災などの恐れがあります。使用中に本体から煙が出たり、異臭・異音等が発生したりする場合は、すぐに使用を中止して AC アダプターおよびご使用のすべてのケーブルを抜き、販売店または弊社までご連絡ください。
- AC アダプターを抜き挿しする場合は、必ず挿入部を持って抜いてください。コードを引っ張って抜いたりすると、ケーブルの断線、動作不具合、感電や火災の恐れがあります。
- 濡れた手で、本製品およびケーブル類を触らないでください。感電や故障の恐れがあります。
- お手入れの際は、接続ケーブルをすべて抜いてから行ってください。また、科学雑巾、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。水洗いは絶対に行わないでください。変色や変形、故障の原因になります。
汚れがひどい時は、薄めた中性洗剤を柔らかい布に付けてよく絞ってからふき、その後乾いた布で水分を拭き取ってください。
- 本製品は安定した場所に設置してご使用ください。不安定な場所から落としたり、ぶつけたりするなどの衝撃を与えないでください。故障や破損の原因となります。
- 長時間ご使用にならない場合は、安全のため AC アダプター、ケーブル類を全て抜いて保管してください。火災や故障の恐れがあります。
- 本製品は直射日光にあたる場所や、冷暖房機器の近く、温度の高い所（結露しているところ）、ほこりや油、薬品、水などがかかる場所には設置しないでください。

注意

- 本製品を密閉された場所、屋外での使用や、長時間の連続使用は避けてください。
- 付属の AC アダプターは専用品です。他社製品はご使用になれません。
- 長時間ご使用にならない場合は安全の為、ACアダプター、ケーブル類を全て抜いて保管してください。
- 本機に接続するケーブルには抵抗入りケーブルを使用しないでください。
- 本製品を譲渡された場合、または中古品に関してのサポートは致しかねます。
- 外部的な要因(破損や水没、漏電、過電流など)や、天災などによる故障破損は、サポート対象外です。
- 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。内容については、各地方自治体へお問い合わせください。
- 電源を入れたまま、ケーブルの抜き差しを行わないでください。損傷の原因になり、この原因による故障はサポート対象外となります。
- 本製品を分解されますと保証の対象外となりますのでご注意ください。

※商品のデザイン、仕様、外観、価格は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

目次

□製品概要	6
□同封物の確認(本体・付属品)	7
□本体各部名	8
□電源接続	10
□操作方法	11
フロントパネルでの操作	11
PC 専用ソフトウェアでの操作方法	14
RS-232C シリアル通信による外部制御での操作方法	22
外付け USB キーボードの操作方法	23
□対応映像フォーマット一覧	24
□外形寸法	25
□ブロックダイアグラム	26
□製品仕様	27
□サポート専用お問い合わせ先	28
□FAQ	29

□製品概要

MSS0811 は、各 8 系統 SDI 入出力を搭載した放送プロジェクトに最適なコンパクト 3G-SDI マトリックススイッチャーです。

3G/HD/SD-SDI とすべての SDI エンベデッドオーディオとタイムコードデータの入出力に対応。入力された各信号を任意の出力端子に切替・出力します。メニュー操作パネルや信号切替え状況確認用 2.2 インチ LCD ディスプレイを備えたエレガントなメタルフロントパネルは、デザイン性と実用性を両立した設計となっております。フロントパネルでの操作の他、LAN 経由にて PC ソフトウェアで簡単に信号切替えや設定変更などの制御が可能です。また、広範囲電圧に対応したネジロック式の DC 入力端子を 2 系統搭載し、万一の断電やアクシデントに備えて冗長化された設計となっております。1U サイズでの EIA ラックマウントに対応しコンパクトなデザインとなっております。

コントロール制御用の USB タイプ A 端子を搭載。キーボードを接続することでキー操作での切替えや設定変更が可能となります。その他 RS-232C 経由でも切り替えやコントロールが可能です。

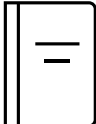
放送プロジェクトや SDI 設備の常設向けに設計された高品質なマトリックススイッチャーです。放送局やライブ会場はもちろんのこと、イベント会場、スタジオ、工場、医療など様々な現場のソリューションにご利用いただけます。

主な特長

- 8 入力 8 出力
- 3G/HD/SD-SDI マルチフォーマット対応
- DVB-ASI 対応
- SDI エンベデッドオーディオとタイムコードデータ対応
- 1U EIA ラックマウント
- 多彩なコントロール方法
 - LAN/RS-232C/キーボード操作用 USB タイプ A 端子
- ネジロック式 DC コネクタと 2 系統電源入力(電源冗長化)

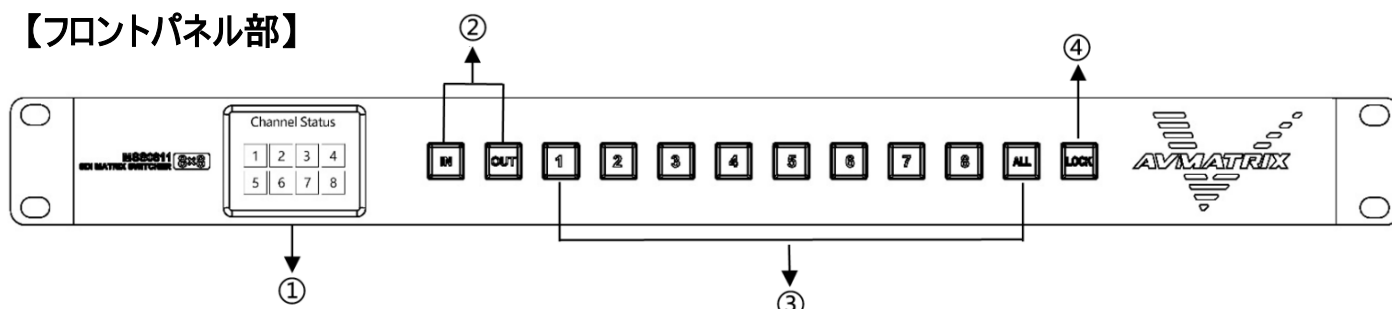
□同封物の確認(本体・付属品)

※同封物は必ずご確認ください。

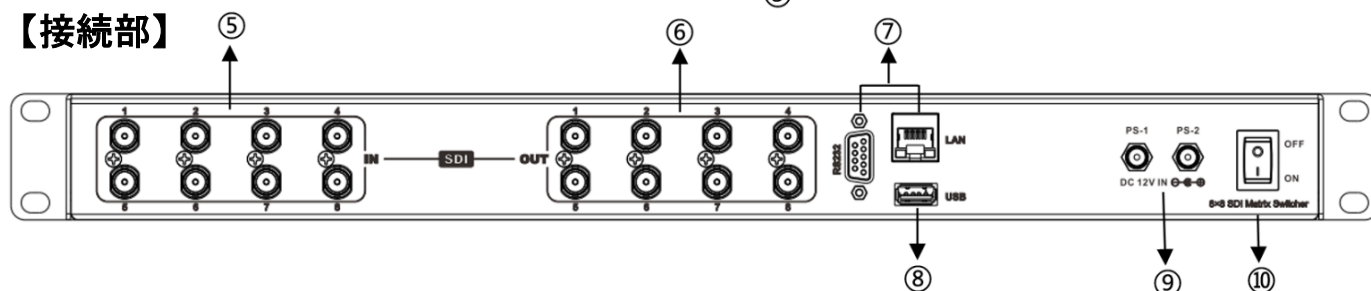
品名	数量	内容物イメージ
本体	1 台	
AC アダプター	2 個	
使用上の注意・保証書	1 部	

□本体各部名

【フロントパネル部】



【接続部】



【フロントパネル部】

番号	名称	説明
①	2.2 インチディスプレイ	出力チャンネルのステータスを確認できます。 ※タッチパネルではありません。
②	IN / OUT (入力/出力ボタン)	入力、または出力を選択します。選択中はボタンが点灯します。 例: IN ボタン→チャンネルボタン1: 入力1を選択
③	1～8/ALL (チャンネルボタン)	1～8のチャンネルを選択します。ALL ボタンを選択してからチャンネル(数字)を選択すると全ての出力をそのチャンネル(数字)に設定できます。選択中はボタンが点灯します。
④	LOCK (キーボタン)	キーロックのオン・オフを設定します。 ボタンランプ点灯: キーロック オン ボタンランプ消灯: キーロック オフ ※電源を再起動するとキーロックは解除されます。

【接続部】

番号	名称	説明
⑤	SDI 入力端子	3G/HD/SD-SDI 入力端子 1～8です。
⑥	SDI 出力端子	3G/HD/SD-SDI 出力端子 1～8です。
⑦	RS232/LAN (PC コントロールポート)	専用コントロールソフトを使用して PC から本製品をコントロールする場合に使用します。 RS-232C: D-sub 9 ピンケーブルで PC と接続します。 LAN: RJ45 ケーブルで PC と接続します。
⑧	USB (USB Type A ポート)	キーボード接続用の USB ポートです。キーボードの操作で各種操作・設定が可能です。
⑨	PS-1/PS-2 (電源入力1/2)	DC6～24V(推奨 12V) 対応ネジロック式電源入力端子です。付属の AC アダプターを差し込みます。
⑩	電源 ON/OFF ボタン	本体電源の ON/OFF を行います。

【2.2 インチディスプレイの見かた】



例: SDI出力端子4には
SDI入力端子4の信号が割り当てられている

ステータス
・左上から右へ向かって出力端子1、2、3…
・数字は入力端子番号

MS0811のIPアドレス
SIP:静的IP接続
DIP:動的(DHCP)IP接続

スイッチングを行うと、表示される数字が切り替わります。

IP 設定を変更すると MSS0811 の IP アドレスが切り替わります。また静的・動的の設定に合わせて SIP(Static IP)/DIP(DHCP IP)と表記が変わります。

□電源接続

電源/映像信号を接続する

注意： 本機に他の映像入出力機器を正しく接続したら、必ず次の手順で電源接続をしてください。誤った手順で操作すると、誤作動や故障の原因になる場合があります。

本機の電源は必ず最後に通電してください。

電源接続手順

起動前

1. 本機と接続するすべての機器の電源がオフになっていることを確認してください。
2. 全ての機器との接続完了後、各機器の電源をオンにしてください。

本機の電源を接続する

1. 本機の電源入力端子に付属 AC アダプターを接続してください。端子は奥までしっかりさして、ネジを回してロックしてください。



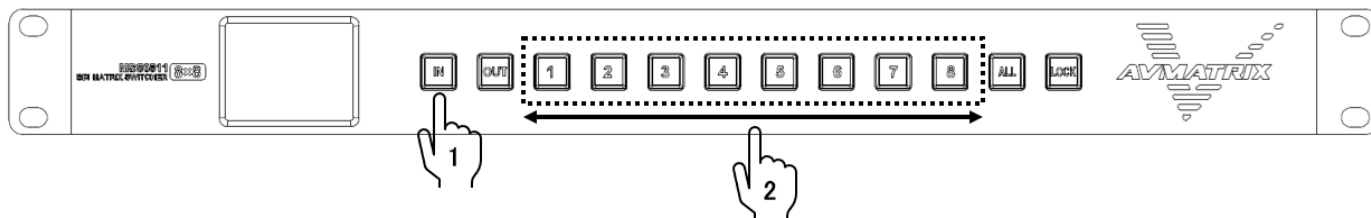
□操作方法

フロントパネルでの操作

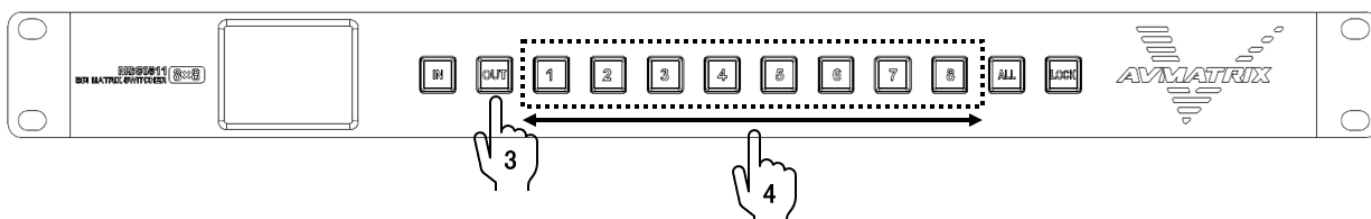
フロントパネルから各種信号の切替えが可能です。切替え方法は以下の3つです。

1つの入力→1つの出力端子へ割り当て

1. IN(入力)ボタンを押してボタンが点灯したことを確認します。
2. チャンネルボタン(数字)を1つ選択します。(入力端子を選択)



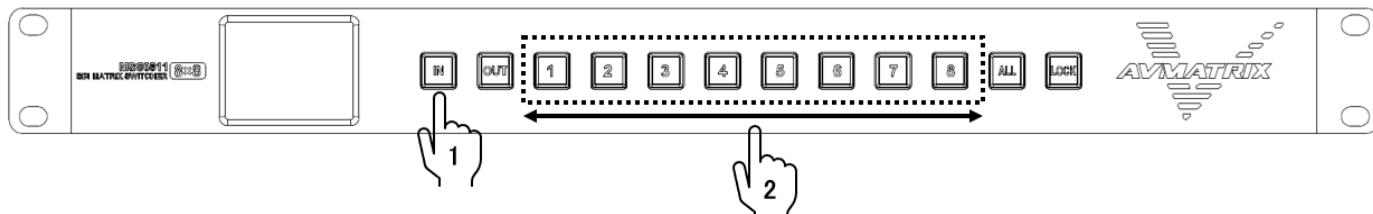
3. OUT(出力)ボタンを推してボタンが点灯したことを確認します。
4. チャンネルボタン(数字)を選択します。(出力端子を選択)



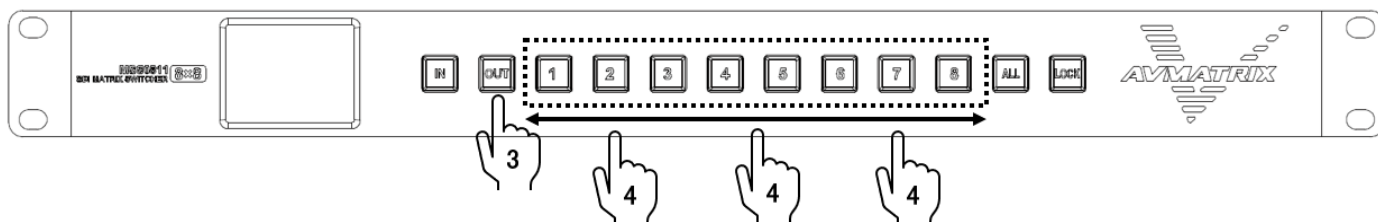
例: “IN” → “1” → “OUT” → “2” (入力1の信号を出力2から出力します。)

1つの入力→複数の出力端子へ割り当て

1. IN(入力)ボタンを押してボタンが点灯したことを確認します。
2. チャンネルボタン(数字)を1つ選択します。(入力端子を選択)



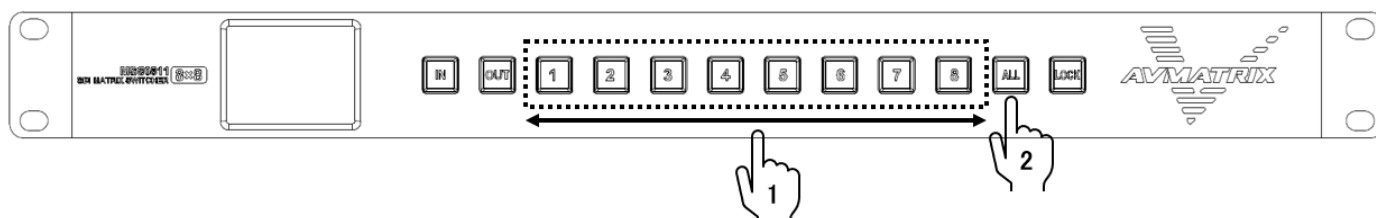
3. OUT(出力)ボタンを推してボタンが点灯したことを確認します。
4. OUT(出力)ボタンが点灯している間に、チャンネルボタン(数字)を複数選択します。(出力端子を選択)



例: “IN” → “1” → “OUT” → “2”、“3”、“8” (入力1の信号を出力2、3、8から出力します。)

1つの入力→すべての出力端子へ割り当て

1. チャンネルボタン(数字)を選択します。(入力端子を選択)
2. チャンネルボタン(ALL)を推します。



例: “1” → “ALL”(入力1の信号を全ての出力から出力します。)

PC 専用ソフトウェアでの操作方法

無料でダウンロード可能な専用コントロールソフトウェアを利用することで LAN (ストレートタイプ) 接続、または RS-232C 接続による PC からの操作に対応します。

※ご注意: 本ソフトウェアは Windows 10 のみ対応です。それ以外の OS につきましてはサポート対象外とさせていただきます。何卒ご了承ください。

専用コントロールソフトウェアダウンロード

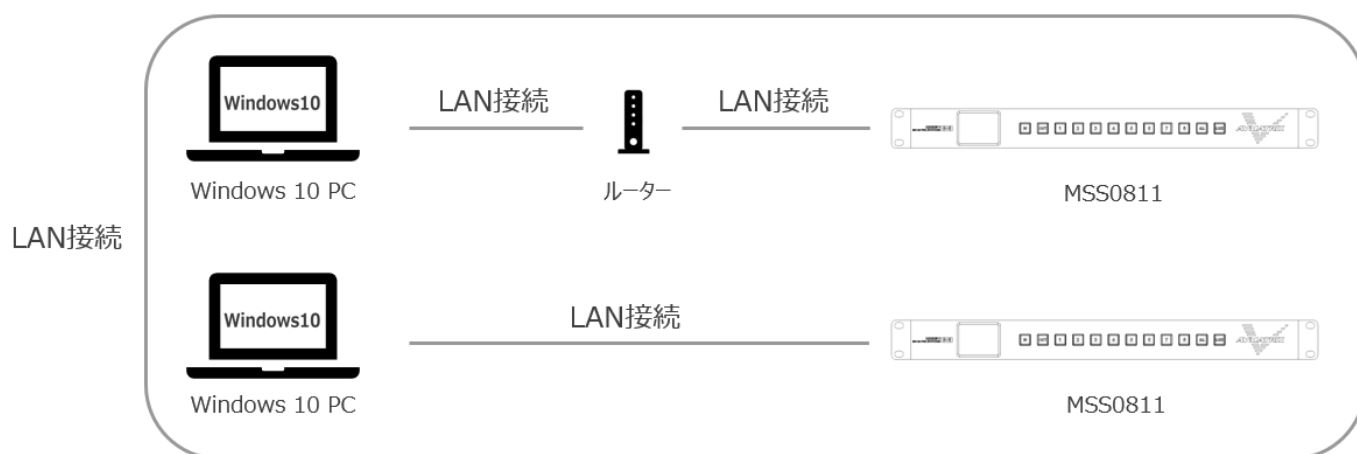
ダウンロード URL <https://avmatrixjp.net/download/>

■LAN 接続

別途ご用意いただくもの (LAN 接続)

- ・LAN 接続可能な Windows 10 搭載 PC
- ・LAN ケーブル (ストレートタイプ)
- ・スイッチングハブまたはルーター (DHCP 機能対応機種を推奨します) ※
- ・専用コントロールソフトウェア (無料でダウンロードいただけます)

※Peer-to-Peer (ピアツーピア) 接続する場合はクロス (LAN) ケーブルを使用してください。



LAN での PC 接続には 2 つの方法があります。

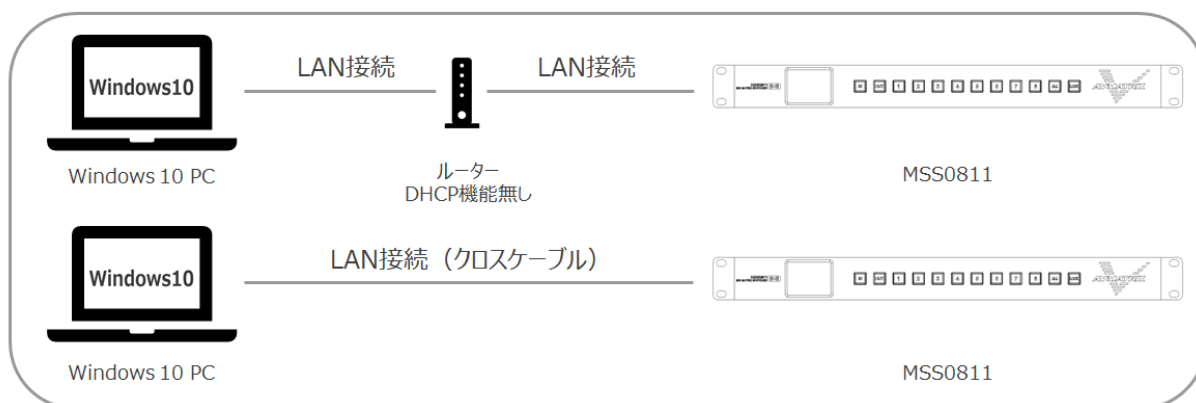
接続方法 1. DHCP 機能を搭載するルーターを通じて PC と本機を接続する方法。

接続方法 2. DHCP 機能を搭載していないルーターを通じ、または本機を PC と直接接続する方法。

方法1
動的IP接続



方法2
静的IP接続



注意

接続方法 2 では、本機を PC と接続した後、PC 側の IP アドレス設定する必要があります。

(接続方法 1 では、IP アドレスを設定する必要がありません)

「IP Address」の設定

PC 側 IP アドレスの設定方法は下記の通りです。

1. 「コントロールパネル」を開いてください。
2. 「ネットワークとインターネット」をクリックしてください。
3. 「ネットワークと共有センター」をクリックしてください。
4. 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックしてください。
5. 「アダプタの設定の変更」をクリックしてください。
6. 「イーサネット」の→クリックメニューから「プロパティ」をクリックしてください。



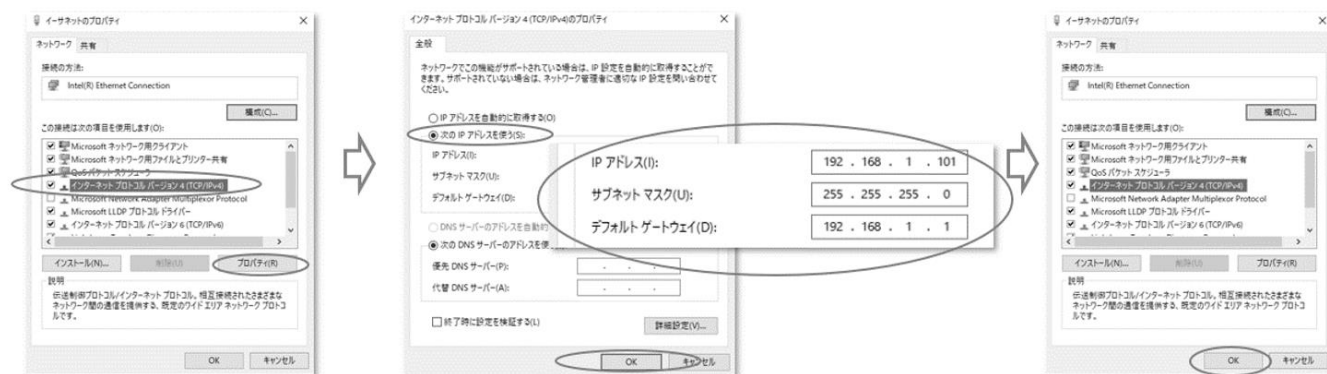
1. 「コントロールパネル」を開く
2. 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリック
3. 「アダプタの設定の変更」をクリック
4. 「イーサネット」を→クリックし、「プロパティ」をクリック
7. 「インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IP)」→「プロパティ」の順にクリックしてください。
8. 「次の IP アドレスを使う」を選択した上で、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを MSS0811 の IP アドレス(2.2 インチディスプレイに表示されます)と同じローカルネットに設定し、「OK」をクリックしてください。

IP アドレス記入例: 192.168.1.xxx (xxx はローカルネット内使用されていない IP アドレスを記入してください)

サブネットマスク記入値: 255.255.255.000

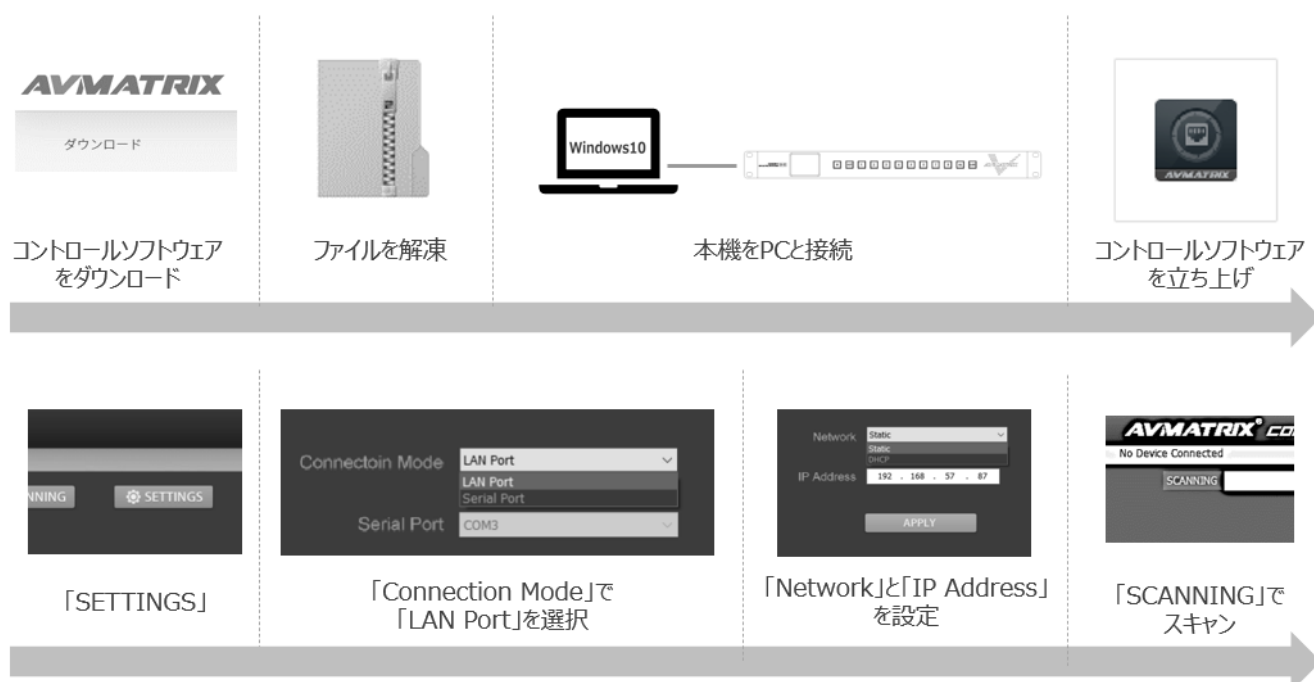
デフォルトゲートウェイ記入値: 192.168.1.1

9. 「OK」をクリックしてください。



5. 「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)」→「プロパティ」の順にクリック
6. 「次のIPアドレスを使う」を選択した上で、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを記入し、「OK」をクリック
7. 「OK」をクリック

LAN 接続手順



- ご利用の PC で MSS0811 専用コントロールソフトウェアをダウンロードしてください(初回のみ)。
- ダウンロードしたコントロールソフトウェアを解凍してください(初回のみ)。
- 本機を PC に接続してください(必要に応じて PC の IP アドレスを変更してください)。
- 解凍したコントロールソフトウェア「Etherne_Control_for_MS_v1.0.3.6.exe」を立ち上げます。
- コントロールソフトウェア内の「SETTINGS」を選択します。
- 「Connection Mode」で「LAN Port」を選択してください。
- 接続方法に合わせて「Network」を設定してください。(15 ページ参照)
- 「IP Address」を設定してください。(16 ページ参照)
- ※「Network」で「Static」を選択した場合のみ
- 「SCANNING」ボタンをクリックしてください。

※本機と PC が接続する DHCP ルーターの仕様によっては本機への IP アドレスを割り当てが遅れることがあるため、コントロールソフトウェア内の「SCANNING」ボタンでスキャンしても本機と PC が接続できない場合があります。その際、前回スキャンしてから約 30 秒が経った後、再度コントロールソフトウェア内の「SCANNING」ボタンでスキャンしてください。

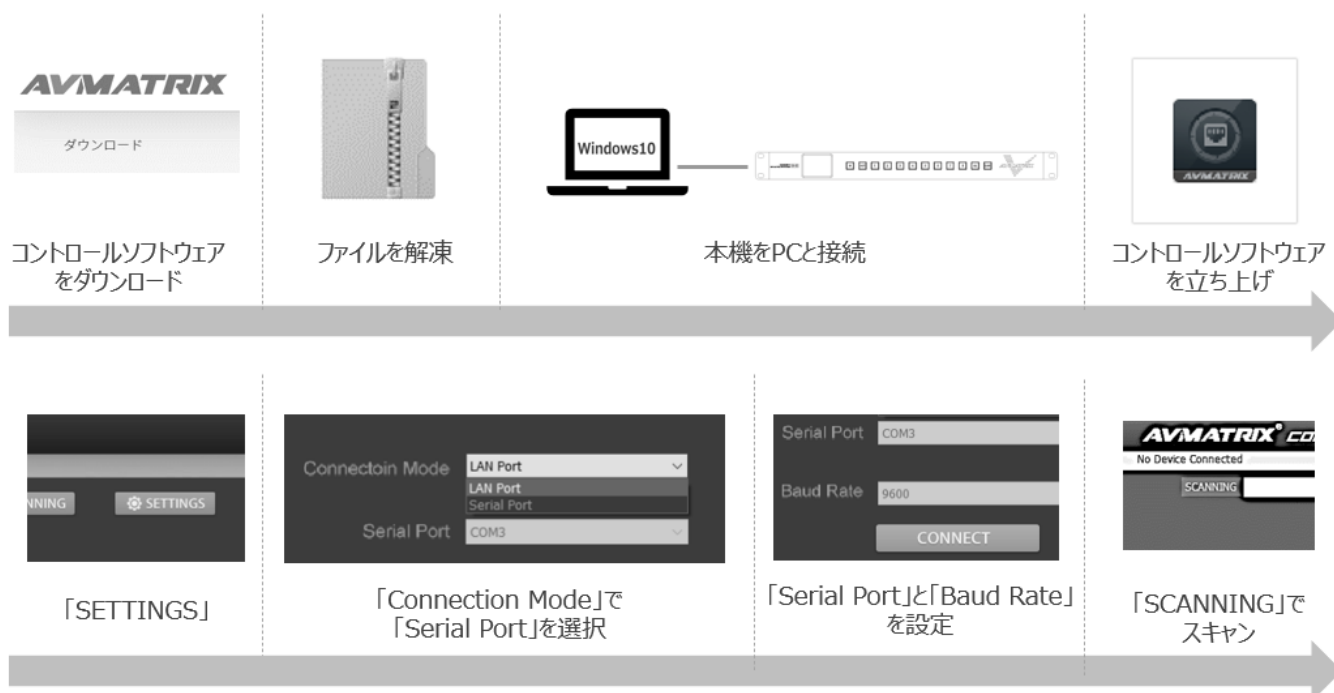
■RS-232C 接続

別途ご用意いただくもの(RS-232C 接続)

- ・RS-232C 接続可能な Windows 10 搭載 PC
- ・RS-232C ケーブル
- ・専用コントロールソフトウェア(無料でダウンロードいただけます)



RS-232C 接続手順



- ご利用の PC で MSS0811 専用コントロールソフトウェアをダウンロードしてください(初回のみ)。
- ダウンロードしたコントロールソフトウェアを解凍してください(初回のみ)。
- 本機を PC に接続してください。
- 解凍したコントロールソフトウェア「Etherne_Control_for_MS_v1.0.3.6.exe」を立ち上げます。
- コントロールソフトウェア内の「SETTINGS」を選択します。
- 「Connection Mode」で「Serial Port」を選択してください。
- 「Serial Port」を設定してください。
※COM1、2、3、…など本機が接続されているポートを選択してください。
- 「Baud Rate」を「9600」に設定してください。
- 「CONNECT」ボタンをクリックしてください。
- 「SCANNING」ボタンをクリックしてください。

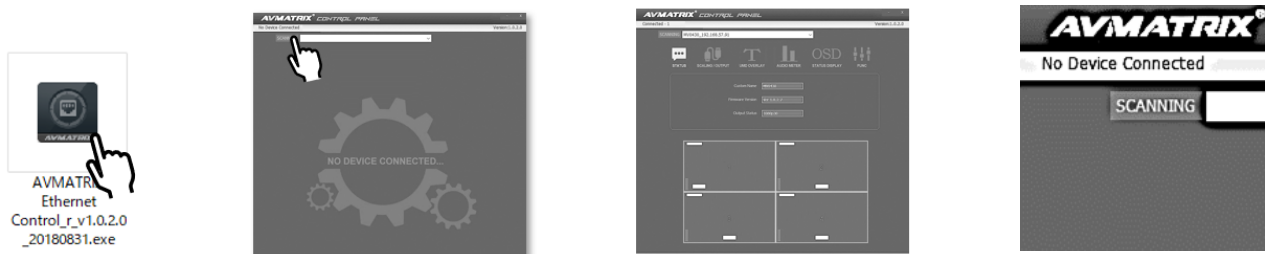
PC 専用コントロールソフトウェアメニュー

PC 専用コントロールソフトウェアの設定メニューは次の通りです。

メニュー名	説明	デフォルト
SCANNING	本機をスキャンします。初めの接続時にクリックします。	－
SETTINGS	LAN と RS-232C の接続設定です。	－
	キーロックボタンです。フロントパネルの操作を無効にします。 錠が空いている:オフ 錠が閉じている:オン	オフ
INPUT	入力を選択します。	1～8
OUTPUT	出力を選択します。	1～8
OUTPUT STATUS	出力に割り当てられている入力(数字)を表示しています。	1～8
ONE TO ALL	1 つの入力を全ての出力へ割り当てます。	－
ONE TO ONE	入出力の設定を以下のように割り当てます。 入力 1:出力 1、入力 2:出力 2…入力 8:出力 8	－
Backlit Time	2.2 インチディスプレイのバックライトが自動で消える時間を設定します。 15s Dim: 操作せず 15 秒経過すると輝度を下げる 60s Dim: 操作せず 60 秒経過すると輝度を下げる 15s off: 操作せず 15 秒経過するとバックライトを消す 15s off: 操作せず 60 秒経過するとバックライトを消す Always On: バックライトを常につける	15s Dim
Backlit Brightness	バックライトの輝度を設定します。0%～100%	50%
APPLY	本ソフトウェアで割り当てた INPUT/OUTPUT の設定を適用します。本ボタンをクリックするまで INPUT/OUTPUT の設定は反映されません。	－
REFRESH	本体のステータスを読み込みます。フロントパネルなどで操作した場合、ソフトウェアへはすぐに反映されません。本ボタンをクリックすることですぐに反映させることができます。	－

■SCANNING(スキャンニング)

PC 専用コントロールソフトウェアを立ち上げ、「SCANNING」をクリックして本機をスキャンしてください。



ソフトウェアを立ち上げ

「SCANNING」ボタンをクリック

接続できた時の表示画面

接続できなかった時の表示画面
「No Device Connected」

本機と接続できた時、「STATUS」画面が表示されます。

本機と接続できなかった時、「No Device Connected」が表示されます。

※本機とPCが接続するDHCPルーターの仕様より、本機へのIPアドレスを割り当てが遅れる場合があるため、コントロールソフトウェア内の「SCANNING」ボタンでスキャンしても本機とPCが接続できない場合があります。その際、前回スキャンしてから約30秒が経った後、コントロールソフトウェアを再起動し、「SCANNING」ボタンでスキャンしてください。

RS-232C シリアル通信による外部制御での操作方法

本機は RS-232C によるシリアル通信外部制御が可能です。

■RS-232C 通信プロトコル

通信プロトコル設定は以下の通りに設定してください。

ボーレート: 9600

データビット: 8

パリティ: None

ストップビット: 1

フロー制御: None

■コマンド ASCII で送信します

コマンド	内容	例
[x]v[y].	入力端子[x]の信号を出力端子[y]から出力します。	1v2. 入力端子 1 の信号を出力端子 2 から出力します。
[x]v[y],[z].	入力端子[x]の信号を出力端子[y]と[z]から出力します。	1v2,3,4,5. 入力端子 1 の信号を出力端子 2、3、4、5 から出力します。
[x]All.	入力[x]の信号を全ての出力端子から出力します。	5All. 入力端子 5 の信号を全ての出力端子から出力します。
All#.	入出力の設定を以下のように割り当てます。 入力 1: 出力 1、入力 2: 出力 2…入力 8: 出力 8	—

※全てのコマンドは[.]で終わる必要があります。

※一つのコマンドラインには、最大1つの入力のみが指定できます。

外付け USB キーボードの操作方法

キーボードへの機能割り当て一覧です。

キー	割り当てられている機能
1	チャンネルボタン(数字) 1～8
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	

キー	割り当てられている機能
I	IN ボタン
O	OUT ボタン
A	チャンネルボタン(ALL)
C	デフォルト 入出力の設定を以下のように 割り当てます。 入力1:出力1、入力2:出力 2…入力8:出力8

接続したキーボードから各種信号の切替えが可能です。切替え方法は主に以下の2つです。

1. 入力端子→1つの出力端子へ割り当て

I キーを押す → 数字キーを押す(入力端子を選択) → O キーを押す → 数字キーを押す。(出力端子を選択)

例: “I” → “1” → “O” → 2 (入力端子1の信号を出力端子2から出力します。)

※キーボード操作では出力端子を連続して複数選択することはできません。

2. 入力端子→すべての出力端子へ割り当て

数字キーを押す(入力端子を選択) → A キーを押す

例: “1” → “A” (入力端子1の信号を全ての出力端子から出力します。)

□対応映像フォーマット一覧

対応映像入力フォーマット

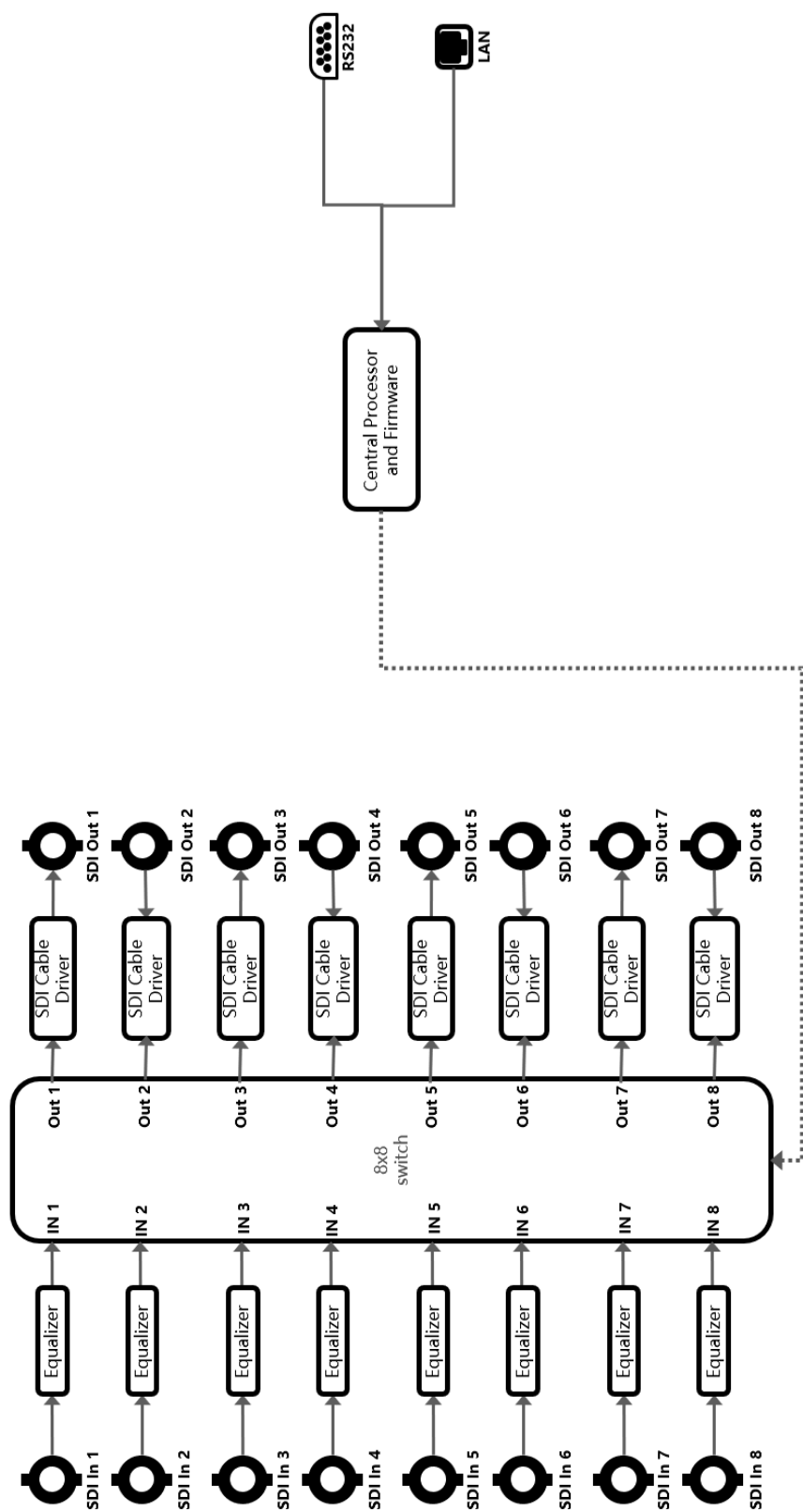
入力端子	フォーマット	解像度	周波数(Hz)
SDI	2K	2048 x 1080p	30 / 29.97 / 25 / 24 / 23.98
		2048 x 1080PsF	30 / 29.97 / 25 / 24 / 23.98
	3G (Level A/B)	1080p	60 / 59.94 / 50
	HD	1080p	30 / 29.97 / 25 / 24 / 23.98
		1080PsF	30 / 29.97 / 25 / 24 / 23.98
		1080i	60 / 59.94 / 50
		720p	60 / 59.94 / 50 / 30 / 29.97 / 25 / 24 / 23.98
	SD	625i (567i)	50
		525i (480i)	59.94

※カラースペース: RGB 4:4:4 (10bit/12bit) / YUV4:2:2 (10bit/12bit) /

YUV 4:4:4 (10bit/12bit) / XYZ 4:4:4 (12bit)

※準拠規格: SMPTE 372M / SMPTE 259M / SMPTE 292M / SMPTE 296M /
SMPTE 424M / SMPTE 425M / DVB-ASI

□ブロックダイアグラム



□製品仕様

型番		MSS0811
端子	SDI 入力	3G/HD/SD-SDI(75Ω) x 8
	SDI 出力	3G/HD/SD-SDI(75Ω) x 8
SDI 対応	入力フォーマット	(2K) 2048 x 1080p 30/29.97/25/24/23.98
		(2K) 2048 x 1080PsF 30/29.97/25/24/23.98
		(HD) 1920 x 1080p 60/59.94/50/30/29.97/25/24/23.98
		(HD) 1920 x 1080PsF 30/29.97/25/24/23.98
		(HD) 1920 x 1080i 60/59.94/50
(HD) 1280 x 720p 60/59.94/50		
(HD) 1280 x 720p 30/29.97/25/24/23.98		
(SD) 625i 50		
(SD) 525i 59.94		
	出力フォーマット	-
	カラースペース	RGB 4:4:4 (10bit/12bit), YUV4:2:2 (10bit/12bit), YUV 4:4:4 (10bit/12bit), XYZ 4:4:4 (12bit)
	SDI 準拠規格	SMPTE 372M, SMPTE 259M, SMPTE 292M, SMPTE 296M, SMPTE 424M, SMPTE 425M, DVB-ASI
コントロール		フロントパネルボタン/LAN/RS-232C/USB タイプ A
電源	入力	ネジロック式 DC コネクタ
	入力電圧	DC 6 ~ 24V
	消費電力	最大 7W
本体 サイズ	寸法	443.5 x 44 x 73mm
	重量	約 1,000g
	動作温度	0~60℃
	保存温度	-30~70℃
	動作/保存湿度	0~90% ※結露なきこと
付属品		AC アダプター x 2 / 保証書
認証		FCC / CE / RoHS / PSE(AC アダプターのみ)
保証期間		ご購入から 3 年間

※AVMATRIX は MATRIX ELECTRONIC TECHNOLOGY 社の登録商標です。

※外観、および各仕様につきましては予告なく変更する場合がございます。予めご了承ください。

※全ての機器との動作を保証するものではありません。

□サポート専用お問い合わせ先

・お問合せされる前に・・・

まずは 28 ページ以降の FAQ をご確認ください。

それでも解決しない場合：

製品のお問い合わせ：www.ad-techno.com/support/info/contact/

修理のご相談：www.ad-techno.com/support/service/contact/

お問合せの際は以下内容をご確認ください。

- ・弊社製品の型番及びシリアル番号
- ・ご質問内容(症状など)

本製品は日本国内での対応となります。国外での使用に関して発生した不具合に関してはいかなる責任も負いかねます。

また日本国外からの問い合わせ、技術サポートは行っておりません。

□FAQ

症状	確認	対策
電源がつかない	電源やコンセントはしっかりと奥まで接続されていますか。	電源、およびコンセントをしっかりと奥まで接続してください。
	フロントパネルのボタンを操作してみてください。ボタンは点灯していますか。また、2.2 インチディスプレイはつきますか。	ボタンや 2.2 インチディスプレイが無灯の場合、本機に電源が入力できていないことを示します。上記の対策を試しても無灯の場合はサポートまでご連絡ください。
映像が入力されない または 映像が出力されない	本機の対応するフォーマットで映像を入力していますか。	入力映像のフォーマットと本機の対応するフォーマット(24 ページ)が一致しているか確認してください。
	ケーブルの長さや仕様は信号の規格に沿っていますか。	SDI は規格により、各フォーマットでのケーブル長や仕様が定められています。仕様に沿ったケーブルかどうか確認してください。
	SDI ケーブルは正しく接続されていますか。	各映像ケーブルを差し直してください。
PC コントロールソフトで操作できない	—	PC コントロールソフトで操作するには、各種設定を行う必要があります。PC ソフトウェアでの操作方法(14～21 ページ)をご参照ください。
USB キーボードで操作できない	他の USB キーボードを試してみましたか。	全ての機器との動作を保証するものではありません。大変お手数ですがサポートまでご連絡ください。
リセットしたい	—	リセット機能はありません。PC 専用コントロールソフトウェアメニュー(20 ページ)の各デフォルト値をご参照ください。